

地域医療連携だより

H16.11
第4号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
TEL.0798-45-6001(地域医療室)

病院長	山村	武平		
副院長	谷澤	隆邦	(診療体制)	地域医療担当
	太城	力良	(危機管理)	経営企画担当
	山田	繁代	(療養環境)	職員研修担当



理念

兵庫医科大学病院は、安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成します。

基本方針

- 患者の立場に立った医療の実践
- 人間性豊かな、優れた医療人の育成
- 高度で、先進的な医療や医学研究の推進
- 健康増進活動による保健・福祉の推進
- 地域の医療機関との円滑な連携

副院長就任のご挨拶

副院長 **太城 力良**
(麻酔科 教授)

平素からの兵庫医科大学病院へのご厚情に感謝申し上げます。

2004年4月から副院長3名体制が発足し、その中で危機管理・経営企画面で山村武平病院長を補佐するのが私の役割です。本年の台風23号兵庫北部水害や新潟中越地震では、当院は災害拠点病院として発生2日目には医療チーム・ドクターカーを派遣しました。



当院の地域医療室は阪神大震災の前年1993年5月に発足し、震災時には本学救護チームの事務局として活動しました。西宮市の要請により全避難施設176ヶ所の医療ニーズを調査し、行政・医師会主導のボランティア医療団連絡会を通じた2ヶ月間の継続的な医療救援活動を行い、避難所への医師派遣数は最大80名/日に及びました。全国からの短期滞在型の救援チームからの引き継ぎや、復旧した病院・診療所での地域医療への円滑な移行に留意しました。被災地の基幹病院の役割として、初期の救急医療を行うだけでなく、本来の地域医療への橋渡しこそが重要と考えたからです。

災害医療だけでなく全ての医療の質の向上には切れ目のない継続的な医療の提供、すなわち医療連携の構築が必須です。さらなるご協力、ご支援をお願いする次第です。

副院長 山田 繁代
(看護部 部長)



先生方におかれましてはご健勝にてご活躍のことと存じます。

平素は何かと兵庫医科大学病院にご協力を賜り有り難うございます。

私は10年間看護部長として看護管理に携わってまいりましたが、今年度から発足いたしました副院長3名体制のもと、療養環境および職員研修担当副院長を拝命いたしました。

医療状況が変化しチーム医療が推進される昨今、病院内で最大集団である看護師を副院長に登用する施設が少しずつ増えています。看護師は、日常患者さんと密着した立場にあり、院内各部門と横断的に係わる機会も多く、病院に

おける多くの問題が見え易い上、院内でコーディネーターの役割も果たしていることなどから、病院運営に携わる役職が与えられたものと考えております。

もとより私にとりまして過大な役柄ではありますが、それぞれの部門の技能や専門性の纏め役として、病院内職員間のコミュニケーションづくりから地域との連携、癒しの環境づくりなど「選ばれる病院」をめざして、職務に専念してまいり所存でございます。

当院ではこの4月から「在宅看護相談室」を設置し、専任の看護師が退院調整や退院後の患者・家族への指導や支援、さらに地域医療機関との連携と調整などに取り組んでおり、地域の先生方から一層のご支援、ご協力をいただきながら、より充実した相談室にしていきたいと考えております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

新任教授の紹介

病院病理部 廣田 誠一



平成16年9月1日より、病院病理学および附属病院の病院病理部を担当させていただきます。

私は昭和59年に兵庫医大を卒業後、大阪大学で約20年間人体病理学を中心に研鑽を積み、最近の約7年間は大阪大学医学部附属病院病理部の助手・助教授として大学病院での病理診断業務を行ってまいりました。

病理標本のなかには、地域の先生方のところで生検を受けて、手術のためまたは診断困難なために紹介された患者さんの検体もあります。患者さんの負担を考えますと、可能な限り先生方のところで得られた材料で診断させていただくのがよいと考えます。最近では、患者さん自らが病理標本を持参し、患者さんの意志で病理診断についてのセカンドオピニオンを求められることもあると臨床各科から聞いております。私たちの部署ではこのような標本の病理診断につきまして、十分に対応させていただく所存でございます。

また、今後の課題として、患者さんの負担を軽減すべく、生検材料の病理診断結果を当日のうちに患者さんにお伝えするようなサービスも導入したいと考えております。地域の先生方におかれましては、色々な形で兵庫医科大学の病院病理部をご利用していただけたらと思います。

治療最前線

● 内科 内分泌・代謝科 ●

外来担当医

教授 山本徹也 助教授 森脇優司
講師 高橋澄夫 助手 井野口卓

当科の特徴

内分泌・代謝疾患を中心に診察を行っています。内分泌では甲状腺疾患が多いのですが、副

腎疾患、副甲状腺疾患を含め、すべての内分泌疾患を扱っております。また代謝疾患では高脂血症、高尿酸血症、電解質異常や生活習慣病の診察も行っています。当科の最大の特徴は他大学でもほとんど取り扱っていない、先天性プリン代謝異常を含めたプリン代謝異常の診断が出来ることでもあります。

各種相談窓口のご案内

当院では、患者さまやご家族のご相談・お問合せをお受けする下記の各種相談窓口を設けております。

患者相談窓口
医療社会福祉部
在宅看護相談室
お薬相談室
栄養相談室

相談内容等については、秘密を厳守いたします。

患者さまやご家族が不利益を受けないよう適切に配慮いたします。今回は以下の窓口をご紹介します。

患者相談窓口

患者相談窓口では、当院の医療等に関して、ご相談をお受けしております。

患者さまがお持ちのさまざまなご相談について、適切に対応させていただきます。ご紹介いたします。

- お申し込み方法：直接お越しく下さい。
- 場 所：1号館附属棟1階 医療社会福祉部 横
- 連絡先：0798 (45) 6711
- 担当者：病院事務職員
- 受付時間：平日 午前8時30分～午後4時
土曜日（第1・3・5） 午前8時30分～正午



医療社会福祉部

医療社会福祉部では、病気になったことで生じてくる生活上の問題についてのご相談をお受けしています。医療費をはじめとする経済的な問題や療養中の不安なこと、これからの生活や社会復帰のことなど、お気軽にご相談ください。

- お申し込み方法：直接お越しく下さい。予約もお受けします。
- 場 所：1号館附属棟1階
- 連絡先：医療社会福祉部 0798 (45) 6137
- 担当者：ソーシャルワーカー
- 受付時間：平日 午前9時～午後4時
土曜日（第1・3・5） 午前9時～正午



災害地域への支援活動



災害拠点病院である当病院は、10月22日～25日にかけて台風23号による水害地域（兵庫県豊岡市）と、10月26日～11月6日にかけて新潟中越地震被災地域（新潟県長岡市）に医療スタッフを派遣いたしました。各災害地域では避難所等に臨時の診療所を開設し、避難者の方々の診療や、ドクターズカーによる往診についても対応しました。

新体制地域医療室の紹介

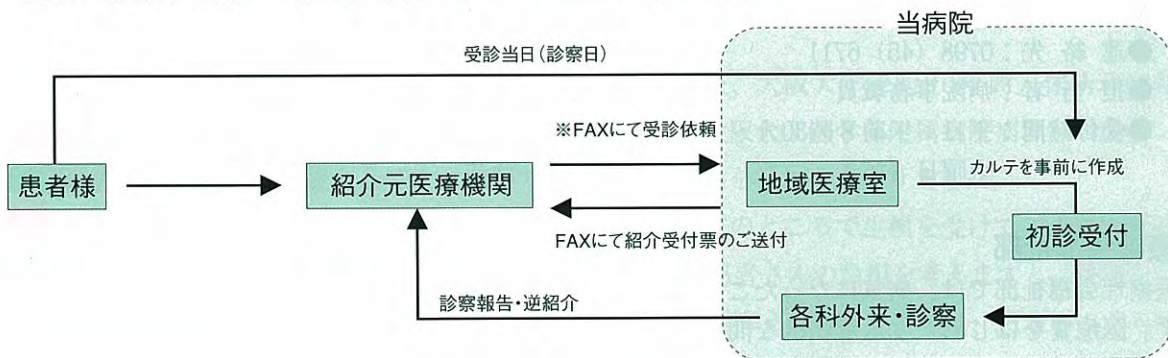


8月1日より3名が加わり新体制となりました。地域医療室では、地域の開業医の先生及び病院の先生方との連携をより一層密にし、紹介患者様の診療がスムーズに運ぶよう努力しております。今後も、紹介患者様及び先生方のご要望に応えられるよう頑張っております。

当院の紹介患者様の予約について

所定の紹介状（診療情報提供書）をご記入後、患者様のお名前（フリガナ）・性別・生年月日・現住所・電話番号・保険情報を受診希望日の前日までにFAXでお送りください。診察当日に事前にカルテをご用意いたします。

- ・紹介状（診療情報提供書）には、出来る限りご希望の医師名をご記入ください。
- ・紹介状（診療情報提供書）は、お電話をいただきましたらお送りさせていただきます。
- ・当日の診療申し込みの際は、午前11時までにお越しください。



編集後記

「地域医療連携だより」についても、新しいメンバーで編集する運びとなりました。今後も当院の最新情報などを順次ご紹介し、さらに内容を充実させて参りますので、宜しくお願いいたします。(編集委員・地域医療室一同)

◆編集・発行

平成16年11月30日
兵庫医科大学病院地域医療室
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL 0798-45-6111 (大代表)
0798-45-6001 (地域医療室)
FAX 0798-45-6002 (地域医療室・予約専用)